

アルゴリズムとデータ構造

基数探索（その2）

演習1（必須課題）

- プログラムを実行して、パトリシアの動作を確認せよ。
実行方法は次ページを参照せよ。
 - Moodleより入手できるプログラム。
 - ItemD.c, ItemD.h, ST.h, STtestD.c ST_pat.c

この課題は提出不要

コンパイル/実行

ランダムな5個の要素
を挿入し、表示せよ

パトリシアでは最初に「0」と表示される。これは、headが指す
「ダミーの節点」である

```
$ gcc -o STtestD STtestD.c ItemD.c ST_pat.c
$ ./STtestD 6 1
0 30887 36916 38336 47794 89384 92778
6 keys
```

ダミー節点があるため、
ここに0と表示される

演習2（加点課題）

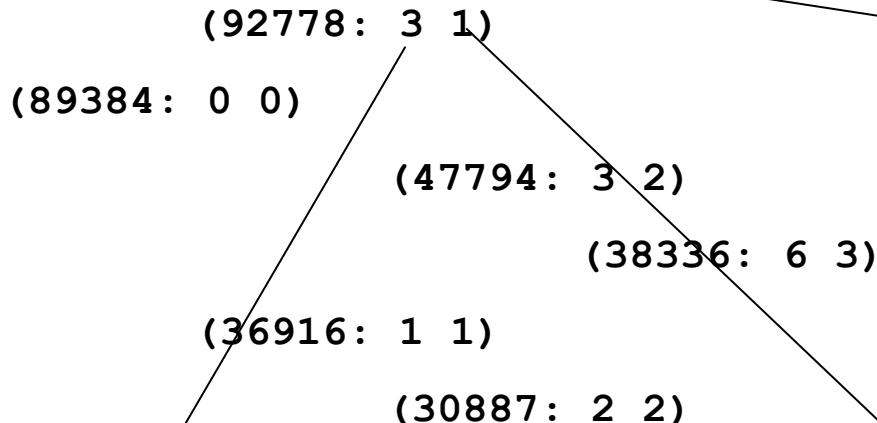
- パトリシア木について、sortR関数を参考にして、STshow関数を実装し、動作確認をせよ。Stshow関数については、次ページを参照すること。
- Moodleより入手できるプログラム。
 - ItemD.c, ItemD.h, ST.h, STtestD.c ST_pat.c
- 提出
 - 記号表に10個の要素をランダムに挿入した場合について、レポート本文として提出すること。
 - ソースコード（ST_Pat.c）を添付ファイルとして提出すること。

木の形状が表示されるように STshowを実装する事.

ランダムな6個の要素
を挿入し、表示せよ

```
$ gcc -o STtestD STtestD.c ItemD.c ST_pat.c  
$ ./STtestD 6 1
```

0 30887 36916 38336 47794 89384 92778
6 keys



ダミー節点があるため、
ここに0と表示される

比較の“bit”を表示

深さを表示